

1 学期学校職員自己評価結果

1 学期の学校教育活動（職員の取り組み方，子どもの実態）について，全職員で自己評価を実施しました。結果は下の表の通りですが，職員の取り組みが，子どもたちの姿として十分に現れていないことが分かります。2 学期は子どもたちの実態が全項目 3 以上になるように取り組んでいきたいと思います。

※数値は 5 段階評価の平均値

日置市立上市来小学校

< 職員の取り組み方 1 >

領域	評価項目	1 学期
学校教育目標	学校の教育目標を具現化した学級目標を設定し，目標達成に向けた児童への継続的な意識付けを行っている。（校訓・学級目標の掲示，個人目標の設定と定期的な自己評価の実施など）	3.8
	「めざす子ども像」の達成に向けて，授業や生活の場面で適切な場を意識的に設け，体験を通して身に付けられるようにしている。	4.1
校務分掌	担当している校務分掌の仕事内容や課題（努力点）を理解し，全職員・児童への働きかけをしている。（「各係の目標と努力点」参考）	3.8
教科経営	各教科の目標，努力点を意識した授業を実践している。（「教科・道徳・総合的な学習の目標と努力点」参考）	3.7
学年経営	学年（学級）の目標と具体策（学級経営案）を立案し，実践をふまえ，必要に応じて修正をしている。	4.0
	学級の設営は，児童の意欲の喚起や学習の成果が分かるように工夫している。	3.1
学習指導	協同的学び，操作活動，体験活動を取り入れた授業実践をしている。	3.8
	読む力（音読力，読解力）の育成を図っている。	4.0
	教材・教具の工夫と開発による指導法の改善と学習資料・環境の整備をしている。	3.5
	「めあて」を明確につかませ，自分の言葉で「まとめ」ができる授業を実践している。	3.0
	家庭学習の習慣化に向けて学年に応じた具体的な指導をしている。	3.9
	1 単位時間の中に，気付いたことや考えたことを書く時間を設定している。	3.0
生徒指導	学年に応じて，書いたことをもとに発表させたり，自分の考えと比べながら聞かせたりしている。	3.5
	持ち物への記名，整理整頓の習慣化に向けて継続的に指導している。	3.1
	早寝・早起き・朝ご飯の習慣化に向けて，家庭との連携を図った取組をしている。	4.0
	学年必読書の設定と読破に向けて継続的に指導している。	3.4
	児童・保護者との教育相談を計画的に実施している。	4.1
	集団下校による交通安全の確保と不審者対策の充実を図っている。	4.2

< 職員の取り組み方 2 >

領域	評価項目	1 学期
健康・体力向上・健康教育	教科体育の指導法改善に努めるとともに，共通実践事項の継続的指導をしている。	3.5
	体力・運動能力調査の結果に基づいた全校的課題や個々の課題解決のために，効果的・継続的な指導を進めている。	3.3
	一校一運動「なわとび」の充実に向けた個人目標を設定させ，達成に向けて継続的に働きかけている。	2.9
	体育科・学級活動の指導を充実させ，児童の健康的な生活にむけた意識の高揚と実践的な態度の育成に努めている。	3.6
校づくりにあたる学	環境教育の推進を通した「みどりの時間」の確保と充実に努めている。	4.2
	環境教育の実践を通して，郷土を愛し，郷土を誇りに思う心の育成に努めている。	3.5
道徳教育	道徳の時間を確保し，子どもの心に届く指導法の工夫・改善に努めている。	3.6
	道徳的実践力の向上が図られるように，実践の場を設定したり，家庭との連携を図ったりしている。	3.3
人権同和教育	児童が学校生活の中で，自他の人権を尊重し，思いやりのある言動がとれるよう支援・指導している。	3.9
特別支援教育	児童の適切な実態把握とコーディネーターを中心とした個別の支援体制を図り，実施している。	3.1
環境教育	緑化計画に基づく計画的な植栽に取り組んでいる。	4.2
	教科，創意，総合的な学習の時間を活用した環境学習への取組を推進している。	3.5
	資源の有効活用に向けた実践的な活動に取り組んでいる。（ごみの分別処理，節電，節水）	3.9
解郷土育・国際理解	地域の自然や歴史に親しむ活動を実施している。	3.4
	地域の郷土素材を活用した授業実践に努め，外国の言葉・文化・習慣の理解を図っている。	3.7
情報教育	コンピュータ活用時を通した情報モラルの指導を図っている。	2.4
	基本的な操作技能の定着を図る授業を実施している。	2.6
職員研修	全校体制による校内研修に取り組んでいる。	4.1
	研究テーマ達成に向けて，共通実践事項などに積極的に取り組んでいる。	3.6
域学校社会・家庭・連携	学級 P T A が児童の健全育成に向けた話し合いや活動の場となるように役員と連携を図っている。	4.1
地域	学級 P T A などの場で，学級経営案について説明したり，自己評価結果や学力検査結果，改善点などを保護者に説明している。	4.1
	教育活動の積極的な発信を行っている。（ブログ，学校だより，学級だより等）	3.9

< 子どもの実態 >

領域	評価項目	1 学期
学校の教育目標（目指す子ども像）	子どもは，心のこもった気持ちのよいあいさつができています。	3.5
	子どもは，「ありがとう」という感謝の言葉を自然に言えるようになっている。	3.1
	子どもは，学習活動や係・委員会活動，そうじなど友達と協力して活動している。	3.8
	子どもは，相手の立場に立った言動ができています。	2.8
	子どもは，学習時間に積極的に発表している。	3.9
	子どもは，話をしている人を見て，落ち着いて最後まで聞くことができています。	2.6
	子どもは，よりよい生活を目指して意見を述べたり，実践したりしている。	2.9
生徒指導関係	子どもは，友達と楽しくかかわりあいながら進んで体を動かしている。	4.1
	子どもは，進んでみんなのための仕事や手伝いをしている。	3.2
	子どもは，時間を守ったり，場の雰囲気を考えて行動したりできています。	2.7
保健関係	子どもは，学年に応じた本を借りて読んでいる。（おすすめ 50 冊完読）	2.9
	子どもは，身の回りの整理整頓ができています。	2.9
	子どもは，靴をきれいにそろえることができています。（玄関，体育館）	3.5
保健関係	子どもは，うがい（含むお茶うがい）・手洗いがしっかりできています。	3.7
	子どもは，食事のマナーを身に付け，給食を残さず食べています。	2.9
	子どもは，給食後の歯磨きをしっかりしている。	3.8
	子どもは，協力して，主体的にそうじや作業（みどりの時間等）に取り組んでいる。	3.9

※世の中には，貧困に苦しむ多くの子どもたちがいます。ポリオワクチンを接種するためのお金や施設等も十分整備されていないところもあるようです。このような子どもたちを何とか支援できないかと思い，ペットボトルキャップを回収してこのキャンペーンに参加したいと思っています。つきましては，ペットボトルキャップ（飲料用のペットボトル）だけをどっておいていただき，P T A の資源回収時（9 月 6 日）に出してください。なお，キャップの回収については，随時小学校に持ってきていただくか，近くの子どもたちに渡していただければありがたいです。このキャンペーンに多くの方が賛同していただき，回収したキャップで世界の子どもにワクチンを届けたいと思います。誠にご面倒かと思いますが，この趣旨を御理解のうえ御協力いただきますようよろしくお願いします。

上市来小・中学校 P T A よりお知らせ

「ペットボトルキャップで世界の子どもたちにワクチンをとどけよう」キャンペーンへの御協力をお願いします。

